

# 福井県のシデムシ

齊藤昌弘

福井県のシデムシ科については、既に「原色福井県昆虫図譜」で10種が図示されており、(1938年)、又、井崎市左衛門氏が「福井県博物同好会会報」で7種を記録している(1956年)。しかし、その後ほとんどまとまった記録がない為、ここで改めて最近のいくつかの記録を加え、現在までに得られている種を記す。なお、同定や資料について御指導下さった福井大学の佐々治寛之教授、福井市立郷土自然科学博物館の長田勝氏に厚く感謝します。

## 1. *Camioleum loripes* Lewis キイロツヤシデムシ

低山地～山地で時折得られている。筆者の記録は以下の様であるが、他の記録も若干ある。

1 ex, 大野市上打波鳩ヶ湯, 4. vi. 1977. ビーチングより。

## 2. *Pelatines striatipennis* Lewis オサシデムシ

花上に見られ、冬期には朽木中や樹皮下で越冬するものが得られる。筆者の標本記録は以下の様であるが、鳩ヶ湯、下打波、上打波、刈込池、貝皿、大納でも確認している。

1 ex, 南条郡今庄町夜叉ヶ池, 20. xi. 1977. 朽木中より。

1 ex, 勝山市三頭山, 29. v. 1977. 花上より。

## 3. *Nicrophorus concolor* Kraatz クロシデムシ

死体や灯火に集まるが、オサムシ等とよくどぶ溝に落ちているものを拾う機会が多い。筆者の標本記録は以下の様であるが、図譜では吉田、大野、今立、丹生、南条、三方、大飯を分布地として挙げており、和泉村朝日の標本も筆者が確認し、福井市布施田でも確認した。個体間の体長差が大きい。

1 ex, 大野市上打波鳩ヶ湯, 30. vii. 1978. 灯火より。

4 exs, 三国町松島 1. xi. 1976.

## 4. *N. maculifrons* Kraatz マエモンシデムシ

県内での記録はあまりない様であるが、図譜では分布を県下一円としている。以下に確実な記録を示す。

1 ex, 敦賀市池の河内, 19. vii. 1975. 灯火採集, 長田勝氏採集保存。

## 5. *N. quadripunctatus* Kraatz ヨシボシモンシデムシ

県産シデムシのうち最も多い種の一つで、死体や人糞にも来集する。筆者の標本記録は以下の様であるが、小浜、大納、山竹田、朝日前坂、布施田でも確認しており、図譜では福井、坂井、大野、丹生、敦賀、大飯を分布地に挙げています。

1 ex, 丸岡町豊原, 3. viii. 1973.

1 ex, 大野市上小池, 23. viii. 1976.

6. *N. investigator* Zetterstedt ヒロオビモンシデムシ

高地性で、筆者が以下の記録で本県初としたもの。同山系の加賀白山には8のツノグロモンシデムシと共に記録はないが、当然分布してよいものと思う。

1 ex, 大野市上打波三の峰黒ん坊平, 標高約 1700 m, 7. viii. 1978.

7. *N. japonicus* Harold ヤマトモンシデムシ

個体数はあまり多くない様で、筆者の記録も以下のみである。図譜の39. シデムシは本種である。

1 ex, 坂井町今井, 13. vii. 1977. 灯火.

8. *N. vespilloides* Herbst ツノグロモンシデムシ

高地性で、筆者が以下の記録で本県初としたもので、貴重な1頭であったが、翌年に簡単なトラップで多数の個体が発見された。

1 ex, 大野市上打波三の峰黒ん坊平, 標高約 1600 m, 19. Vii. 1977. 下草上より.

3 exs, 大野市上打波三の峰黒ん坊平, 標高約 1700 m, 7. Viii. 1978.

9. *N. montivagus* Lewis ヒメモンシデムシ

高地性で、目下県下では2頭の記録があるのみで、そのうち1頭は筆者採集保存で、もう1頭は佐々治先生の赤兎山での記録である。筆者の記録は以下の通り。

1 ex, 大野市上打波三の峰黒ん坊平, 標高約 1700 m, 7. Viii. 1978.

10. *Ptomascopus morio* Kraatz コクロシデムシ

死体や灯火に集集する。地理的変異がある様で、平地産では大型で上唇が黄褐色であるが、山地産のものでは小型で上唇が全く黒い、両者の中間型も山のふもとで得られ、上唇が元半分だけ黄褐色になる。しかし、山地でもやや大型の個体得られる。筆者の標本記録は以下の様であるが、鯖江でも確認されており、図譜では福井、吉田、坂井、丹生、三方、遠敷、大飯を分布地としている。

2 exs, 朝日前坂, 30. vii. 1976. 死体

1 ex, 丸岡町豊原, 5. iv. 1971. 死体

11. *Necrodes asiaticus* Portevin オオモモブトシデムシ

灯火に集まるものを得る機会が多い。筆者の標本記録は以下の様であるが、貝皿でも確認している。

2 ♂♂, 大野市上打波鳩ヶ湯, 30. vii. 1978. 灯火より.

1 ♀, 大野市上打波鳩ヶ湯, 18. viii. 1976. 灯火より.

12. *N. nigricornis* Harold モモブトシデムシ

県内では最も多い種の一つ。標高が上がるほど個体数が減るようで、奥越地方では前種と入れ替るようである。筆者の標本記録は以下のようであるが、丸岡、三国、金津、芦原、川西で確認しており、図譜では大野、遠敷、大飯、福井、坂井を分布地としている。

1 ♂, 福井市足羽山, 10. viii. 1976.

1 ♂, 坂井町今井, 1. viii. 1975.

13. *Calosilpha brunnicollis* Kraatz ベッコウヒラタシデムシ

死体等に来るが、次種よりかなり少ない。

3 exs, 丸岡町丈競山, 20. vii. 1975.

1 ex, 金津町宮谷, 19. vi. 1977.

図譜では福井, 吉田, 坂井, 大野, 今立, 丹生, 南条, 敦賀, 三方, 遠敷, 大飯を分布地に挙げています。

14. *Eusilpha japonica* Motschulsky オオヒラタシデムシ

県内では最も多い種の一つ。図譜の35. ホソヒラタシデムシは本種である。筆者の標本記録は以下の様であるが、坂井, 金津, 芦原, 丸岡でも確認しており、図譜では分布を県下一円としている。

1 ex, 三国町松島, 9. vii. 1977.

1 ex, 福井市布施田, 2. iv. 1973.

15. *Silpha longicornis* Portevin ホソヒラタシデムシ

高地性で、以下の記録で筆者が本県初としたもの。地方的変化があり、本個体は前胸背がやや幅広く、黒味が強く、一見ヒラタシデムシに似る。

1 ex, 大野市上打波三の峰黒ん坊平, 標高約1600 m, 19. vii. 1977.

16. *Oiceoptoma thoracica* Linne ピロウドヒラタシデムシ

高地性で、以下の記録で筆者が本県初としたもの。個体数はあまり多くない。

3 exs, 大野市上打波三の峰黒ん坊平, 標高約1700 m, 7. viii. 1978.

2 exs, 大野市上打波三の峰黒ん坊平, 標高約1700 m, 20. viii. 1977.

17. *Oiceoptoma nigropunctata* Lewis クロボシヒラタシデムシ

あまり多くない様で、山地で時折得られている。図譜の36. ヨシボシヒラタシデムシは本種である。図譜では三方を分布地に挙げていますが、佐々治先生は下打波でも記録している。

18. *Thanatophilus auripilosus* Portevin ヒメヒラタシデムシ

図譜の北潟, 敦賀の記録があるのみ。

その他、近縁グループとして、チビシデムシ科では次の3種が記録されている。

*Catops hilleri* Kraatz ヒレルチビシデムシ

*C. angustipes* Pic アカアシチビシデムシ

*C. angustitarsis* Reitter ルイスチビシデムシ

又、現在はハネカクシ科に移されているが、注目できるものとして次の記録がある。

*Trigonoderma lebioides* Kraatz クロモンシデムシモドキ

県内では2頭のみ。1頭は佐々治先生の下打波での記録で、もう1頭は筆者の以下の記録。

1 ex, 大野市宝慶寺, 27. xi. 1977.

以上が現在までにわかっている福井産シデムシのファウナであるが、本県ではオサムシ用トラ

ップ以外はほとんど掛けられておらず、どのような種、個体数が分布しているのかはほとんどわかっていない。これから記録が増えたとすれば、小型種で1種、モンシデムシ類で1種、ヒラタシデムシ類で1種ほどであろう。他県との比較もしなければならないが、本県の上記18種という種数は他県の記録に比べて多い方である。しかし、石川県には本県の記録にないムナグロツヤシデムシの記録が加賀白山にあり、この種が本県側にも分布しているかどうかは今後の宿題である。又、大阪でツシマヒラタシデムシの亜種があり、三国町松島でもこれと思われる個体が得られており、今後くわしく調べてみるつもりである。以上、断片的ではあるが福井県に関するシデムシの知見をまとめてみた。

#### 福井県産シデムシに関する文献

- 1) 井崎市左衛門，1956年，福井県の甲虫(1) 福井県博物同好会会報，第3号P. 48～49  
(7種)
- 2) 齊藤昌弘，1978年，福井県の珍しい甲虫の記録 昆虫と自然，通巻157号P. 30～31  
(2種)
- 3) 佐々治寛之，1976年，昆虫目録B，甲虫類 福井県自然環境保全基礎報告書，P. 173  
(7種)
- 4) 福井県博物学会，1938年，原色福井県昆虫図譜，第20図版(10種)

(福井県坂井郡坂井町今井<会社員>)